

名古屋市における 廃食用油回収の取り組み

名古屋市環境局資源循環推進課 課長補佐 豊島 将太



名古屋市における廃食用油回収

- 平成21年度 回収協力店舗1か所にて、
モデル事業として廃食用油の回収を開始
⇒以降、主にバイオディーゼル燃料として資源化
- 平成24年度 回収協力店舗を全市に拡大し、60か所で回収を実施
- 令和 8年度 一部店舗で回収した廃食用油をSAFとしての資源化を開始
⇒現在は72か所で回収を実施（令和7年度回収量：58,451リットル）
⇒キックオフイベントを開催や各区環境事業所での回収キャンペーンなどの広報を実施



廃食用油回収の方法

- スーパーマーケットや総合スーパーなどの回収協力店舗において回収を実施
⇒ お買い物ついでに廃食用油をお持ちいただけるよう、生活動線に根ざした回収を実施
- 廃食用油は700ml以下のペットボトルに入れ、ペットボトルごと受け取り
対象となる廃食用油は植物性油のみ
- 店舗ごとの状況に合わせ、サービスカウンターでの受け取りまたは専用回収ラックを設置

<サービスカウンター>



<専用回収ラック>



回収した廃食用油が入ったペットボトルは
バックヤード等でコンテナに入れて保管

市が契約する回収業者が定期的に回収



SAFへの活用をきっかけとした広報展開 ～廃食用油の活用をPRする啓発物品の作製～



- ・ SAFなどのリサイクル後の用途を前面に推し出した啓発物品を作製
- ・ 廃食用油がSAFを始めとして様々なものとして活用できる「資源」であることをPRし、分別排出の動機付けとする

作製した啓発物品の例



紙製容器に入ったポケットティッシュ



廃食用油を使用して作られたクレヨン



SAFへの活用をきっかけとした広報展開 ～キックオフイベントの開催～



- ・令和8年4月に、回収協力店舗で開催
- ・協定を締結するSAF供給の関係者にも出席いただき、来店者向けにPRを実施
- ・日揮HD様が主催する「Fry to Fly Project」に参加し、広報ツールを使用
- ・中部国際空港様との連携により、セントレアでSAFとして使用されることをPRし、リサイクルをより身近に感じてもらう広報を実施
- ・以降も各区環境事業所における広報やイベント時の広報を実施

